

原稿執筆の手引き

1 原稿のページ数

1.1 ページ数、文字数について

研究報告書は、「要旨」と「本文」で構成される。要旨のページ数は1頁、報告書本文のページ数は4～5頁（2,500～3,000字）を目安とする。

1.2 作成上の注意

報告書テンプレートを使用して書式を崩さないように作成すれば、ページ数が大幅にずれることはない。図表のサイズやレイアウトによって、ページ数が異なるが、最終的には事務局で調整するので、4～5頁を目安として作成すればよい。

2 原稿

2.1 研究報告書原稿は、報告書テンプレートを使って作成すること。

2.2 要旨・本文ともに、1段組みで50文字×44行である。このテンプレートを使用した場合、用紙サイズ、1行の字数・行数などはあらかじめ設定されているので、特に変更する必要はない。

3 ヘッダー

ヘッダー部分の文字列「上原記念生命科学財団研究報告集, 33 (2019)」については編集しないこと。

4 要旨

4.1 要旨のタイトル

助成金一覧表に記載されている「研究タイトル」をコピーし、転載する。

助成金一覧表は、Editorial Managerのログインページの右側にあるLinks、もしくは上原記念生命科学財団のHPより、参照する。

4.2 要旨の構成

【目的】、【方法】、【結果】に分けて、簡潔に記載する。

4.3 要旨の図

要旨には、図表を1枚挿入すること。図の上にタイトルのみ記述して、説明文は記述しない。

5 本文

5.1 本文のタイトル

助成金一覧表に記載されている「研究タイトル」をコピーし、転載する。

5.2 著者名

著者名は、助成金受領者を記載する。

共同研究者については、本文中の「共同研究者・謝辞」欄に記載する。

5.3 所属研究機関名

助成金一覧表に記載されている「所属研究機関名」をコピーし、転載する。

申請時より所属変更があった場合、現在の所属を1頁目フッターに記載する。

5.4 キーワード

キーワードは、5つ以内とする。

5.5 緒言

研究背景、論文内容の要約、また得られた成果を簡潔に記載する。

5.6 実施した研究内容

研究の方法（実験方法、分析方法等）、得られた結果、知見、先行研究との比較、考察などを、「方法」、「結果」および「考察」に分けて説明する。場合によっては、「方法と結果」、または「結果と考察」をまとめて記載しても良い。

5.7 共同研究者・謝辞

共同研究者を記載し、その後に謝辞を記述する。

5.8 参考文献の引用

本文中での参考文献の引用は、文章中の該当箇所にカギ括弧で表記する。尚、本文中で引用する文献のみを記載し、最大10件の引用に留める。

（例）………と知っている [1]。

なお、引用件数が複数の場合は、下記のような表記とする。

二件の引用の場合、[1, 2]、[3, 6]

三件以上の引用の場合、[3~5, 7]

6 外国語

固有名詞以外の外国語は、できる限り訳語を用い、最初（初出）の訳語には括弧付きで原綴を付する。

7 図、表、写真

図、表、写真は、本文中に挿入して中央に配置する。図表を最後にまとめ、文章中に図表の挿入位置を示すといった方法にはしない。

図1、図2、表1、表2のように一連番号を付して、タイトルは図表中に記載しないで、必ず本文中に記載する。図表中の文字サイズがレイアウトした状態で、基本9ポイント以上になるように注意する。

8 参考文献

参考文献は、報告書本文の最後に引用順に半括弧 1)、2) を使って一括表記する。

参考文献の記述形式は、PubMed方式（NLM形式）にて記載する。すなわち、以下の例のように、著者、タイトル、雑誌名、発表年、巻数（号数）、ページ、PMID、DOIの順とする。

（文献記載例）

Takahashi K, Yamanaka S. Induction of pluripotent stem cells from mouse embryonic and adult fibroblast cultures by defined factors. Cell. 2006 Aug 25;126(4):663-76. Epub 2006 Aug 10. PMID: 16904174 DOI: 10.1016/j.cell.2006.07.024

9 本文記述についての注意・補足

9.1 簡潔かつ明瞭に記述するが、専門外の方々が閲覧することを考慮して、専門用語の使い方に留意する。

9.2 当用漢字、現代かなづかいとし、数字は算用数字を使用する。

9.3 上付き、下付きの文字はワードの文字修飾機能を使って表示する。

9.4 遺伝子名、学名はイタリック体で表記する。

10 著作権や人権等への配慮

原稿執筆に際しては、他者の著作権や、研究に関わる個人・集団（研究対象となった個人・集団や研究に関連のある個人・集団）のプライバシーや名誉に関する十分な配慮のもとに行う。